



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月28日

上場会社名 アスクル株式会社 上場取引所 東
コード番号 2678 URL <https://www.askul.co.jp/corp/investor/>
代表者（役職名）代表取締役社長 CEO（氏名）吉岡 晃
問合せ先責任者（役職名）取締役 CFO（氏名）玉井 繼尋 (TEL) 03-4330-5130
半期報告書提出予定日 2026年2月4日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年5月21日～2025年11月20日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年5月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期中間期	208,725	△12.3	△2,995	—	△3,814	—	△6,612	—
2025年5月期中間期	237,932	2.9	6,028	△16.8	5,920	△16.7	3,739	△19.4

（注）包括利益 2026年5月期中間期 △6,481百万円（—%） 2025年5月期中間期 3,895百万円（△18.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年5月期中間期	円 銭 △72.68	円 銭 —
2025年5月期中間期	39.10	39.05

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年5月期中間期	百万円		百万円		%	
2026年5月期中間期	196,960		66,682		32.0	
2025年5月期	227,782		81,254		34.2	

（参考）自己資本 2026年5月期中間期 63,108百万円 2025年5月期 77,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 38.00
2026年5月期	—	0.00	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年5月21日～2026年5月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 —	% —	百万円 —	% —	百万円 —	% —	百万円 —	% —

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日（2026年1月28日）発表の「ランサムウェア攻撃によるシステム障害に伴う特別損失の計上、通期連結業績予想の取り下げ、中間配当・期末配当予想の修正（中間配当無配、期末配当未定）および役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 - ② 期末自己株式数
 - ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年5月期中間期	89,771,300株	2025年5月期	94,771,300株
2026年5月期中間期	232,328株	2025年5月期	1,245,700株
2026年5月期中間期	90,973,028株	2025年5月期中間期	95,645,518株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14
3. その他	15
販売費及び一般管理費の明細（連結）	15

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年5月21日から2025年11月20日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下でインバウンド需要の増加等もあり、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰および世界的な金融政策の不確実性による影響が懸念され、通商政策などのアメリカの政策動向が個人消費に及ぼす影響等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2025年7月に公表しました中期経営計画（2026年5月期～2029年5月期）の目標達成に向け、リテール事業の再成長と新たな価値提供領域の確立を掲げ施策を進めてまいりました。しかしながら、2025年10月19日に発生した当社を標的としたランサムウェア攻撃により、当社物流システム等が被害を受けシステム障害が発生したことで、当社のWEBサイトでお客様からのご注文の受付を一時的に停止し、事業活動に影響が生じました。一刻も早くお客様がご利用いただけるようサービス復旧を果たすべく、被害を受けた物流システム等の再構築を迅速に進めると共に、復旧までの期間についても、物流システムを介さず手作業でお客様へ商品をお届けするフローを構築し、社会インフラとしての責務に取り組んでまいりました。なお、当該システム障害に関連した費用としては、主に、物流システムが被害を受けた事により休止した固定資産の減価償却費およびソフトウェア償却費を、営業外費用の休止固定資産減価償却費に6億82百万円、発生した復旧費用等を、特別損失のシステム障害対応費用に52億16百万円それぞれ計上しております。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高2,087億25百万円（前年同期比12.3%減）、営業損失29億95百万円（前年同期は営業利益60億28百万円）、経常損失38億14百万円（前年同期は経常利益59億20百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失66億12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益37億39百万円）となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりです。

＜eコマース事業＞

(単位：百万円)

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額	増減率
売上高	233,569	205,004	△28,564	△12.2%
ASKUL事業	178,294	150,722	△27,571	△15.5%
LOHACO事業	18,108	15,995	△2,112	△11.7%
グループ会社・内部取引消去	37,166	38,285	+1,118	+3.0%
営業利益又は営業損失（△）	6,064	△2,526	△8,590	—

(注) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

当中間連結会計期間のeコマース事業については、当該システム障害の発生を受け、当社のWEBサイトでお客様からのご注文の受付を一時的に停止した影響により、売上高は、2,050億4百万円（前年同期比12.2%減）、営業損失は25億26百万円（前年同期は営業利益60億64百万円）となり、減収減益となりました。

売上高、営業損失の状況は、主に以下のとおりです。

① 売上高

a. ASKUL事業

- ・システム障害の発生を受け、当社WEBサイト「ASKUL」および「ソロエルアリーナ」等のご注文の受付を一時的に停止したことにより前年同期比15.5%の減少
- ・一部商品については、ランサムウェア攻撃により被害を受けた物流システムを介さず手作業での出荷フローで商品をお届けするも従来の売上高をカバーするまでには至らず

b. LOHACO事業

- ・LINEヤフー株式会社と連携した販促施策の効果や備蓄米の販売が寄与したものの、システム障害の発生を受け当社WEBサイト「LOHACO」が停止した影響により、前年同期比11.7%の減少

c. グループ会社・内部取引消去

- ・株式会社アルファパーソナルの売上高が堅調に推移し、前年同期比3.0%の伸長

②営業損失

営業損失は、25億26百万円（前年同期は営業利益60億64百万円）となりましたが、主に売上総利益率が24.6%と前年同期比で0.2ポイント改善した一方、売上高物流費比率および固定費が増加した影響等により売上高販管費比率が25.8%と前年同期比で4.0ポイント増加したことによるものであり、内容は以下のとおりです。

- ・コピーペーパー等の輸入商品について、為替影響により仕入原価が低減し、売上総利益率が改善
- ・システム障害の発生により売上高が減少した一方で、一時的に物流効率が低下したことで売上高販管費比率が増加
- ・2025年6月の「ASKUL関東DC」の稼働により、立ち上げに係る一時コストや減価償却費等の固定費が発生（合計14億88百万円）

＜ロジスティクス事業＞

ASKUL LOGIST株式会社の当社グループ外の物流業務受託について、当社システム障害の発生を受け一時的に当該業務を停止した影響により、減収減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は33億37百万円（前年同期比16.4%減）、営業損失は5億10百万円（前年同期は営業損失82百万円）となっております。

＜その他＞

婦恋銘水株式会社での飲料水の販売が猛暑の影響もあり堅調に推移しておりましたが、当社システム障害の発生により当社WEBサイトが一時的に停止したことで、当社WEBサイトにて販売しておりました飲料水の売上が減少したこと等から減収減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は10億51百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は47百万円（前年同期比67.6%減）となっております。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当中間連結会計期間末における総資産は1,969億60百万円となり、前連結会計年度末と比べ308億21百万円減少いたしました。これは主に、「ASKUL関東DC」の稼働によりリース資産が110億67百万円、繰延税金資産が31億54百万円、ソフトウェアが26億57百万円、建物及び構築物が23億35百万円、流動資産その他が18億34百万円増加した一方、ランサムウェア攻撃の影響により当社WEBサイトからのご注文の受付を一時的に停止したことから受取手形、売掛金及び契約資産が321億28百万円、建設仮勘定が111億14百万円、未収入金が77億56百万円、ソフトウェア仮勘定が29億16百万円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における負債は1,302億78百万円となり、前連結会計年度末と比べ162億49百万円減少いたしました。これは主に、リース債務（固定）が107億88百万円、流動負債その他が38億70百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が243億75百万円、未払金が37億74百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）が15億49百万円、電子記録債務が14億84百万円減少したことによるものであります。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産は666億82百万円となり、前連結会計年度末と比べ145億72百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の取得、消却および処分により自己株式が16億27百万円減少（純資産は増加）した一方、自己株式の消却が77億94百万円、親会社株主に帰属する中間純損失の計上が66億12百万円、配当金の支払いが17億76百万円あったことにより、利益剰余金が161億83百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は32.0%（前連結会計年度末は34.2%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は494億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9百万円増加いたしました。なお、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは97億76百万円の収入（前年同期は111億48百万円の収入）となりました。これは、売上債権の減少額321億28百万円、未収入金の減少額77億56百万円、減価償却費、ソフトウェア償却費、のれん償却額および顧客関連資産償却額の合計67億68百万円、システム障害対応費用52億16百万円があった一方、仕入債務の減少額276億15百万円、税金等調整前中間純損失91億28百万円、未払金の減少額37億43百万円があったこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは99億2百万円の支出（前年同期は87億12百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出66億2百万円、ソフトウェアの取得による支出29億86百万円があったこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは11億35百万円の収入（前年同期は78億26百万円の支出）となりました。これは、セール・アンド・リースバックによる収入130億43百万円があった一方、自己株式の取得による支出64億45百万円、リース債務の返済による支出22億14百万円、配当金の支払額17億76百万円があったこと等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月4日に公表いたしました2026年5月期（通期）の連結業績予想を取り下げ、未定としております。

詳細につきましては、本日（2026年1月28日）発表の「ランサムウェア攻撃によるシステム障害に伴う特別損失の計上、通期連結業績予想の取り下げ、中間配当・期末配当予想の修正（中間配当無配、期末配当未定）および役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月20日)	当中間連結会計期間 (2025年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,423	49,439
受取手形、売掛金及び契約資産	59,870	27,742
商品及び製品	22,909	23,634
原材料及び貯蔵品	559	849
未成工事支出金	70	109
未収入金	14,300	6,544
その他	3,638	5,473
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	149,752	113,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,295	12,915
減価償却累計額	△5,683	△5,967
建物及び構築物（純額）	4,612	6,948
土地	257	257
リース資産	32,279	45,681
減価償却累計額	△17,777	△20,112
リース資産（純額）	14,501	25,568
建設仮勘定	11,435	320
その他	13,100	13,113
減価償却累計額	△9,859	△9,438
その他（純額）	3,240	3,674
有形固定資産合計	34,047	36,770
無形固定資産		
ソフトウエア	14,556	17,213
ソフトウエア仮勘定	5,524	2,608
のれん	4,783	4,511
顧客関連資産	7,020	6,759
その他	10	11
無形固定資産合計	31,895	31,103
投資その他の資産		
投資有価証券	100	100
繰延税金資産	4,566	7,720
その他	8,165	8,202
貸倒引当金	△745	△709
投資その他の資産合計	12,086	15,314
固定資産合計	78,030	83,187
資産合計	227,782	196,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月20日)	当中間連結会計期間 (2025年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,482	34,106
電子記録債務	21,660	20,176
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	6,096	5,786
未払金	12,342	8,567
未払法人税等	578	585
未払消費税等	398	324
引当金	438	579
その他	6,594	10,464
流動負債合計	106,972	80,971
固定負債		
長期借入金	13,735	12,495
リース債務	12,651	23,439
退職給付に係る負債	5,001	5,179
資産除去債務	2,941	3,289
繰延税金負債	2,394	2,306
その他	2,830	2,596
固定負債合計	39,555	49,306
負債合計	146,527	130,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,233	21,233
資本剰余金	14,934	14,834
利益剰余金	43,393	27,209
自己株式	△1,989	△362
株主資本合計	77,572	62,915
 その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	-	0
退職給付に係る調整累計額	216	191
その他の包括利益累計額合計	216	192
 非支配株主持分	3,466	3,574
 純資産合計	81,254	66,682
 負債純資産合計	227,782	196,960

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
売上高	237,932	208,725
売上原価	180,750	158,507
売上総利益	57,182	50,217
販売費及び一般管理費	51,153	53,212
営業利益又は営業損失(△)	6,028	△2,995
営業外収益		
受取利息	49	123
助成金収入	15	39
貸倒引当金戻入額	–	35
その他	45	67
営業外収益合計	110	265
営業外費用		
支払利息	191	338
休止固定資産減価償却費	–	682
その他	27	64
営業外費用合計	219	1,085
経常利益又は経常損失(△)	5,920	△3,814
特別利益		
固定資産売却益	3	22
受取損害賠償金	6	–
その他	6	0
特別利益合計	16	23
特別損失		
固定資産売却損	0	–
固定資産除却損	18	109
投資有価証券評価損	50	–
システム障害対応費用	–	5,216
その他	3	11
特別損失合計	72	5,337
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	5,864	△9,128
法人税、住民税及び事業税	1,922	560
法人税等調整額	28	△3,231
法人税等合計	1,951	△2,670
中間純利益又は中間純損失(△)	3,912	△6,458
非支配株主に帰属する中間純利益	172	153
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	3,739	△6,612

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
中間純利益又は中間純損失（△）	3,912	△6,458
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	-	0
退職給付に係る調整額	△16	△24
その他の包括利益合計	△16	△23
中間包括利益	3,895	△6,481
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,723	△6,635
非支配株主に係る中間包括利益	172	154

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	5,864	△9,128
システム障害対応費用	–	5,216
減価償却費	2,365	3,292
ソフトウエア償却費	2,548	2,942
長期前払費用償却額	66	78
のれん償却額	268	272
顧客関連資産償却額	261	261
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△38
引当金の増減額(△は減少)	100	169
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	131	142
受取利息及び受取配当金	△53	△129
支払利息	191	338
受取損害賠償金	△6	–
投資有価証券評価損益(△は益)	50	–
固定資産除却損	18	109
固定資産売却損益(△は益)	△3	△22
売上債権の増減額(△は増加)	△1,233	32,128
棚卸資産の増減額(△は増加)	△231	△1,233
未収入金の増減額(△は増加)	488	7,756
未収消費税等の増減額(△は増加)	80	△2,301
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,180	△27,615
未払金の増減額(△は減少)	63	△3,743
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,748	△73
その他	595	1,487
小計	6,650	9,908
利息及び配当金の受取額	53	129
利息の支払額	△192	△338
損害賠償金の受取額	11,881	–
法人税等の支払額	△7,503	△499
法人税等の還付額	259	576
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,148	9,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,180	△6,602
有形固定資産の売却による収入	8	39
ソフトウエアの取得による支出	△2,943	△2,986
長期前払費用の取得による支出	△6	△217
差入保証金の差入による支出	△723	△78
差入保証金の回収による収入	152	10
貸付けによる支出	△21	△5
貸付金の回収による収入	0	35
資産除去債務の履行による支出	–	△89
その他	△0	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,712	△9,902

	(単位：百万円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,399	△1,549
自己株式の取得による支出	△4,017	△6,445
リース債務の返済による支出	△1,575	△2,214
非支配株主からの払込みによる収入	21	79
配当金の支払額	△1,741	△1,776
セール・アンド・リースバックによる収入	886	13,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,826	1,135
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,390	1,009
現金及び現金同等物の期首残高	61,744	48,423
現金及び現金同等物の中間期末残高	56,354	49,433

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年3月18日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において、自己株式3,992,600株の取得を行いました。この結果、自己株式が6,219百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年3月18日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において、自己株式5,000,000株の消却を行いました。この結果、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が7,794百万円、自己株式が7,795百万円減少しております。

(追加情報)

(システム障害対応費用の計上)

中間連結損益計算書において、2025年10月19日に発生したランサムウェア攻撃によるシステム障害の対応に伴う費用5,216百万円を、「システム障害対応費用」として特別損失に計上しております。主な内訳は、サービス復旧に備えた物流基盤等の維持費用、システム調査・復旧費用、出荷期限切れ商品の評価損等であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年5月21日 至 2024年11月20日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益計算書計上額(注) 3
	eコマース事業	ロジスティクス事業	計				
売上高							
ASKUL事業	178,294	—	178,294	—	178,294	—	178,294
LOHACO事業	18,108	—	18,108	—	18,108	—	18,108
グループ会社 ・内部取引消去	37,166	—	37,166	—	37,166	—	37,166
ロジスティクス事業	—	3,993	3,993	—	3,993	—	3,993
その他	—	—	—	369	369	—	369
顧客との契約から 生じる収益	233,569	3,993	237,563	369	237,932	—	237,932
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	233,569	3,993	237,563	369	237,932	—	237,932
計	233,569	3,993	237,563	1,192	238,756	△823	237,932
セグメント利益 又は損失(△)	6,064	△82	5,982	145	6,127	△98	6,028

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△98百万円は、セグメント間取引消去になります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2025年5月21日 至 2025年11月20日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益計算書計上額(注) 3
	eコマース事業	ロジスティクス事業	計				
売上高							
ASKUL事業	150,722	—	150,722	—	150,722	—	150,722
LOHACO事業	15,995	—	15,995	—	15,995	—	15,995
グループ会社 ・内部取引消去	38,284	—	38,284	—	38,284	—	38,284
ロジスティクス事業	—	3,337	3,337	—	3,337	—	3,337
その他	—	—	—	385	385	—	385
顧客との契約から 生じる収益	205,002	3,337	208,340	385	208,725	—	208,725
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	205,002	3,337	208,340	385	208,725	—	208,725
計	205,004	3,337	208,342	1,051	209,393	△668	208,725
セグメント利益 又は損失 (△)	△2,526	△510	△3,036	47	△2,989	△5	△2,995

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去になります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(当座貸越契約の締結)

当社は、2026年1月7日開催の取締役会において、2025年10月19日に発生したランサムウェア攻撃によるシステム障害に関し、手元資金の流動性低下に備え、中長期的な手元資金の流動性を担保すると共に、売上高の再成長に向けて機動的かつ安定的な資金調達を実施する事を目的として、総額500億円の当座貸越契約の締結を決議し、締結いたしました。

(1)借入先	株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行
(2)当座貸越極度額	50,000百万円
(3)契約締結日	2026年1月15日
(4)契約期間	1年
(5)利率	基準金利+スプレッド
(6)担保の有無	無担保
(7)保証の有無	無保証

3. その他

販売費及び一般管理費の明細（連結）

科目	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)		当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)			(参考) 前期 2025年5月期 (自 2024年5月21日 至 2025年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費	12,459	5.2	13,164	6.3	105.7	25,148	5.2
配送運賃	10,991	4.6	10,156	4.9	92.4	21,347	4.4
業務外注費 ※1	3,040	1.3	3,422	1.6	112.6	6,247	1.3
業務委託費	5,781	2.4	5,559	2.7	96.2	11,685	2.4
地代家賃	6,227	2.6	6,429	3.1	103.2	12,508	2.6
貸倒引当金繰入額	14	0.0	4	0.0	31.8	△16	△0.0
減価償却費 ※2	2,116	0.9	2,632	1.3	124.4	4,328	0.9
ソフトウェア償却費 ※3	2,503	1.1	2,674	1.3	106.8	5,053	1.1
その他諸経費 ※4	8,016	3.4	9,167	4.4	114.4	17,231	3.6
合 計	51,153	21.5	53,212	25.5	104.0	103,534	21.5

※1 前年同期と比較して、当中間連結会計期間の業務外注費が増加しておりますが、主な要因は、DX推進に伴う生成AI等のライセンス費用発生による影響であります。

2 前年同期と比較して、当中間連結会計期間の減価償却費が増加しておりますが、主な要因は、ランサムウェア攻撃によるシステム障害の影響により物流センターの設備を一時的に稼働停止したため、停止期間における当該資産に係る償却費を営業外費用で計上した一方、「ASKUL関東DC」の稼働があつたことによる影響であります。

3 前年同期と比較して、当中間連結会計期間のソフトウェア償却費が増加しておりますが、主な要因は、ランサムウェア攻撃によるシステム障害の影響により「ASKUL」「ソロエルアリーナ」「LOHACO」の当社WEBサイト等を一時的に稼働停止したため、停止期間における当該資産に係る償却費を営業外費用で計上した一方、基幹システムリプレイスがあつたことによる影響であります。

4 前年同期と比較して、当中間連結会計期間のその他諸経費が増加しておりますが、主な要因は、「ASKUL関東DC」の稼働に伴う費用発生およびASKUL事業におけるカタログ新規発行による影響であります。